

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部医療人育成支援センターでは、下記の研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：薬理学ロールプレイ：Case & Communication based approachによるアクティブラーニングー医学生と看護学生の協働学習による学びー

1. 研究の概要

医療職の教育は、学生時代から多職種チームとして学ぶことが有用であると WHO(1988)において提言されています。日本においても2000年前後から Interprofessional Education (以下、IPE)を大学教育の教育課程に取り入れる大学が増加しています。IPEの教育効果としては、知識、スキル、態度や信念に変化をもたらす効果があると報告されています。

近年の高度先進医療が展開される医療現場において、学生は卒業後に、多職種連携のもと安全な医療を提供することが求められます。しかしながら、多様な薬剤を扱う医療従事者は、容量・用法などを守り正しく投与することを実践していますが、薬剤に関する事故報告は後を絶たず、繰り返し注意喚起がなされています。近年の基礎教育課程の医学生や看護学生の薬理学教育は、主要な治療薬や作用機序・副作用などについて学習はしていますが、臨床経験がないことから膨大な知識の暗記に陥りがちです。この解決策の一つとして柳田他(2015)は、「薬理学ロールプレイ」を用いた薬物治療教育(Case and Communication based approach：以下C&C approach)を開発し、医学教育においてその学習効果を報告しています。医学教育で行われたC&C approachでは、コミュニケーション能力の重要性や、患者の立場を理解する機会となったことや、基礎医学の重要性を意識する機会となったことが報告されています。

学生が卒業後に、医師・看護師として専門性を発揮し、薬物治療を安全に患者に提供するためには、C&C approachをIPEとして展開し、より早期から臨床における薬物治療場面を体験し、医療者同士のコミュニケーションの重要性を学ぶことは重要であると考えられます。これまで宮崎大学医学部の医学生を対象に実施されてきたC&C approachは、2017年度より、新たに医学生と看護学生を対象に合同講義として開催されています。

そこで、本研究は、講義終了後のアンケート結果を分析することにより、医学生と看護学生の合同講義による学習効果、及び、多職種連携に関する学びを明らかにし、今後のC&C approachの運営に向けて示唆を得ることができると考え、その教育効果について検討することを目的としました。

2. 目的

本研究は、医学生と看護学生の合同講義として実施された薬理学ロールプレイ(C&C approach)の学習効果について検討し、多職種連携教育に向けた教育効果を明らかにすることが目的です。なお、本研究は、医学・看護学の薬理学への教育方法における新たな知見を得ることを目的とする学術研究活動として実施されるものです。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2019年7月まで行われます。

4. 対象者

平成29年度 宮崎大学医学部医学科2年生、看護学科2年生合同で行われた薬理学の講義を受講し、アンケートを提出した学生が対象となります。

5. 方法

対象となる学生の皆様のアンケートから、以下の情報を利用して頂き、これらの情報を基に、

C&C approach の教育効果について検討します。

＜講義終了時のアンケートによる質問項目＞

- a. 薬物治療の理解に有効であったか
- b. 患者の気持ちの理解に有効であったか
- c. モチベーションの向上に有効であったか
- d. 多職種連携の理解につながったか
- e. 学習姿勢の変化
(コミュニケーション能力、患者からの視点、勉強の量・質、プレゼンテーション能力)
- f. 講義の感想：自由記述

6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

7. 利益および不利益

本研究へ参加することによる研究対象者に、直接の利益はありません。研究成果により将来の医療従事者への教育に貢献できる可能性があります。

8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究計画および研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。ただし、研究の独創性確保に支障のない範囲内で情報開示を行います。

10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する部署の法人運営費の研究費で賄われます。

11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部医療人育成支援センター

講師 山本恵美子

電話：0985-85-8305 FAX：0985-85-7239